



む こ の し ょ う

武庫庄



尼崎市立武庫庄小学校  
学校だより

令和8年5月18日

ムコノショウ 庄 プラスI

～今日より明日を良くする心を創る 「明日はできる」今日に挑戦!!～

## 「つなぐ・つながる・うごきだす」学び!!

新緑の青葉が五月の爽やかな風に揺れ、目にまぶしい季節となりました。子どもたちは新しい環境にもすっかり慣れ、教室にはじっくりと学習に取り組む、落ち着いた活気と思いやりのある温かな空気が満ちています。子どもたちの順応の早さと、きらきらとした笑顔に、私たち教職員も日々たくさんエネルギーをもらっています。

さて、私たちの街・尼崎市は、今年で市制110周年という大きな節目を迎えました。このスローガンに掲げられているのが、「つなぐ つながる うごきだす」という言葉です。私はこの言葉を初めて目にしたとき、「これはまさに本校の研究テーマ『聞き合い』の中で、子どもたちに育みたい姿そのものだ!」と共感いたしました。

本校では、すべての教科において、子どもたち同士の「話し合い・聞き合い活動」を充実させることに力を注いでいます。私が各教室を参観していると、実によく見かける微笑ましい光景があります。それは、先生が「では、今の問題について近くの人と話し合ってみましょう」と投げかけた瞬間、子どもたちがごく自然に体を相手の方へくると向け、真剣な表情で友達の顔を見て、話に耳を傾けている姿です。

これまでの授業といえば、「先生が前に立って話し、子どもたちはそれを静かに聞く」というスタイルが主流でした。しかし今、本校が目指しているのは、子どもたち自身が主役となる授業です。友達が発した言葉やアイデアをしっかりと受け止め、そこに自分の考えを「つなぐ」。そうしてクラスみんなの意見がパズルのピースのようにはまって「つながる」。すると、「あ、そうか!」と目の前がパッと開け、子どもたちの「もっと知りたい!」という探究心が主体的に「うごきだす」。日々の授業の中で、そんな素敵で連鎖が生まれ始めているのです。

この「聞き合い」には非常に高い学習効果があります。人間は自分の頭の中だけで考えていると、一つの見方に縛られがちですが、友達の意見を聞くことで視野が大きく広がります。ここで大切なのは、単に自分の意見を主張したり、正しさを競い合ったりすることではありません。本校が育みたいのは、「友達の意見を心から尊重し、そこからヒントを得て、自らの学びをさらに深いものにしていく姿勢」です。自分と違う意見を排除するのではなく、「それも面白いね」「じゃあ、二つの意見を合わせたらどうなるかな?」と受け止めた上で、共に新しい答えを見つけていく。これこそが、これからの時代をたくましく生き抜くために必要な「共に学び合う姿」であると確信しています。

110周年を迎えた尼崎の街が活気ある未来へ向けて動き出しているように、学校でも毎日の言葉のキャッチボールを大切に、確かな学力と豊かな心へとつないでまいります。ご家庭でもぜひ、夕食時などに「今日は授業で友達とどんなお話をしたの?」と声をかけてみてください。子どもたちが得意げに語る言葉の中に、確かな成長を感じていただけるはずです。今月も保護者の皆様の温かいご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。